

セルフモニタリング報告書（令和6年度分）

令和 7 年 4 月 30 日

施設名：文化交流センター
 指定管理者名：シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
 所管課名：教育部 生涯学習課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
1 事業計画の達成度						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画の内容に従い施設の使命を全うすべく文化活動促進に向け適切に管理運営	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	ホームページでの情報発信や利用申請のメール活用で明解・迅速・利便性を重視しWi-Fi全室への拡充や各種接続ケーブルの無料貸出などを通じて利便性の向上を図り利用者数・利用率とも上昇した。	A	B	C	D	E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		-	-	-	-	-
自主事業は計画どおり行われたか。	「健康チェック」や「食育イベント」等新規事業のほか、従前の恒例事業やXmasロビーコンサートなどほぼ計画に沿い開催した	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	地域の方と連携した「私たちの地域をどうしたら委員会」や「あいボラ企画」で高校生の発案を取り入れた講座、事業を開催した	A	B	C	D	E
2. 利用者の満足度						
利用者の満足が得られているか。	例年どおり10月1か月間利用者アンケートを実施し、93.7%と高い満足度を得た	A	B	C	D	E

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	定期アンケートや意見箱、利用者への積極的な声掛けで意見要望を受け止めている	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	利用者の喫煙について近隣から苦情をいただいたが、迅速に禁煙と副流煙への配慮呼びかけポスターを正面および西口に掲示しかつ巡回を増やして禁煙への協力を呼び掛けるなどして利用者への啓もうを図った	A	B	C	D	E
3 管理運営の効率性						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	ペーパーレス化推進とオンライン活用で利用率向上と対応時間の短縮が図られ、ホームページでこまめな情報発信と予約状況の反映で利用者の利便性が向上また、省エネやペーパーレス化の推進等日常的に職員への意識付けを行いそれらを浸透させた	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	設備員（施設設備管理及びホール音響照明）は再委託せず自社職員とし、その他の再委託は市内業者を優先的に採用し複数見積もり等から経費は適切かつ最小を心がけた	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。	定期利用サークルの開拓と一般利用増に向けWi-Fi機器等の整備と情報発信に努めた	A	B	C	D	E
4 適正な管理運営						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	責任者常駐のため副館長は2名体制とし、その他企画書に沿った人員を配置、さらに定員外で障がい者を1名雇用した	A	B	C	D	E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	条例・規則に基づき平等利用、減免、還付も含め適切に処理	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	改正保護法に沿い紙媒体、電子データともに厳重に管理し、職員には情報セキュリティと個人情報保護研修を実施	適		不適		

<p>施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。</p>	<p>処理方法及び管理体制の確立と日々の多重チェック、上部組織による点検で適正に処理</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。</p>	<p>仕様書に則り、適時に適切な法定点検及び保守を実施</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。</p>	<p>仕様書に則り文書・備品を適正に管理し台帳を具備</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。</p>	<p>万事法令及び協定書に則り適正に管理運営</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>書類・備品等の管理は適正に行われているか。</p>	<p>仕様書に則り文書・備品を適正に管理し台帳を具備</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。</p>	<p>万事法令及び協定書に則り適正に管理運営</p>	<p>適</p>		<p>不適</p>		
<p>5 地域貢献</p>						
<p>雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。</p>	<p>館員は地域から雇用し再委託も地元を優先し地域貢献を図っている</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

指定管理者の自己評価（全体を通して）

生涯学習活動と社会教育の推進及び文化の振興と市民の交流の拠点であることを踏まえ、公共施設を運営する団体として、利用者が「安全」、「公平」かつ「心地良く」利用できることを根底に据えて施設運営に取り組み、施設の使命を十分に果たした。

1 利用者目線、利用者ファーストの経営

(1) 見やすくわかりやすい新ホームページを立ち上げ、こまめな情報発信と予約状況の反映で利用者の利便性が向上（予約時の空き状況問合せが減少かつ遠隔地や若者の利用が増）

(2) W i - F i を全室に拡充しリモート勤務やW e b 会議など平日日中の少人数利用が可能なことをアピールして利用増を図った

(3) サークル活動のPRと地域貢献を狙いとして、交流ひろばでXmasロビーコンサートを開催し来場者は100人を超えた

(4) 札幌や本州など遠隔地からの利用に、メールと銀行振込での対応で利便性向上を図った

(5) 利用者や地域の声を館経営と地域発展に活かす狙いで「私たちの地域をどうしたら委員会」を開催し有効な意見交換ができた

(6) 「あいボラ企画」で高校のボランティア部と共同で「護身術」や「怪談会」などを企画、開催した

2 将来の利用者開拓につなげるため、低年齢層の利用促進を図った。

(1) 文化祭やクリスマス展やひなまつり展に児童センターの子どもたちの段ボールアート、地域の園児たちの作品を展示して独自事業の改善・充実を図った

(2) 自主事業も子どもや若者主体の行事「アイビー探検隊」や「アイビー・フェスタ（ダンスパフォーマンスショー）」などを開催し多くの子どもたちが参加した

(3) 高校生インターンシップ（職業体験）では事務、清掃業務のほか一日館長などの体験を通じて施設理解の推進ができた